

1 本年度の重点教育目標

・自分の考えを適切に伝えることができる生徒の育成

2 本年度の取組の重点

①家庭・地域と一体となった学校運営 ②校務運営・指導体制の工夫・改善 ③業務改善の推進
④教職員の資質向上 ⑤港小学校との連携 ⑥教育環境の整備

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
①家庭・地域と一体となった学校運営	めざす子ども像を共有し、保護者や住民が教育活動の運営に参画しているか	a		A	A	デジタルによる発信に偏らず、町内会の回覧機能の活用など、多様な情報発信方法を駆使する。
	積極的な情報発信と学校評価システムを活用し、教育活動の質向上を図っているか	a		A	B	
②校務運営・指導体制の工夫・改善	外部人材を活用するとともに連携して指導体制の充実を図っているか	b	外部人材の効果的活用を図り、指導の工夫・改善を推進する	A	A	C Sが核となり、地域の教育力をつなげる体制作りを進める。
③業務改善の推進	各会議は適時の開催と組織的・効率的な運営になっているか	a		A	A	
④教職員の資質向上	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて実践力を高めてきたか	b	校内外の研修を充実させ、教職員の資質向上を強化していく	A	B	地域参観等による教育活動の可視化をさらに推進する。
⑤港小学校との連携	学びの連続性を踏まえた連携・接続に努めたか	b	小学校や地域と連携した中で、地域の学習環境の連携・充実を図り、未来社会に対応するような姿勢や学力の獲得に全力を尽くす	A	A	学校と家庭・地域が一体となってより具体的な取組内容や活動を設定する。キャリアパスポートの活用をさらに進める。
	年間を見通した小中一貫教育の推進を図ったか	b		A	A	
⑥教育環境の整備	教育目標の実現に向けた学習環境の整備・充実について計画的に推進したか	a	感染防止を含めた防災安全マニュアルの見直し・整備と安全点検の充実を図る	A	B	地域や各機関と連携した中で防災・減災および感染防止の知識や意識の育成を推進する。
	施設・設備の点検・整備に努め、安全な学校作りを行っていたか	b		A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。